

**データに基づく意思決定を PR 活動にもたらず
売上に直結する PR メッセージがわかる『PR Intelligence』提供開始
独自の分析技術と報道データで適切なメッセージ・タイミング・媒体を導出**

デジタル PR を支援するビルコム株式会社（本社：東京都港区 代表取締役兼 CEO：太田滋）は、大手食品・家電・飲料メーカーといった企業向けに、データ分析で売上に直結する PR メッセージがわかるサービス『PR Intelligence』の提供を2017年9月28日より開始します。

サービスサイト: <http://www.bil.jp/printelligence.html>

国内での Business Intelligence (BI) ツール市場が伸長を見せているように、企業がデータ分析に基づく意思決定をすることが一般的になりつつあります。

PR 業界に目を向けると、市場規模は2008年から2014年で約1.3倍に伸長^{*1}。企業の PR 会社への発注内容として「マーケティングコンサルティング」の項目が増加^{*2}しており、PR にも商品・サービスの売上への貢献がより求められる傾向にあります。しかし、PR 活動の成果は、媒体への掲載数や広告費換算費といった中間的な指標が一般的であり、マーケティング目的への貢献度はほとんど可視化されてきませんでした。そのため、PR 戦略の立案においても、売上に貢献するメッセージ・媒体・発信タイミングを定量的に判断することが困難でした。

『PR Intelligence』は、こうした市場背景を踏まえ、データを基に「より売上に響く PR 手法・メッセージを明確化したい」「PR が売上に貢献したことを可視化したい」といったニーズに対応するサービスです。

本サービスは、独自の分析技術と、当社が提供するクラウド型 PR 効果測定ツール『PR Analyzer』で蓄積された報道データを用いて、売上に貢献するメッセージ・タイミング・媒体といった要因を分析します。導入することにより、重点媒体の選定や PR メッセージ策定の精度向上につながるだけでなく、キャンペーンや宣伝におけるメッセージ・施策の選定にも活用可能です。

本サービスはすでに大手メーカー複数社で導入いただいております、2018年度中に20社導入を目指します。

^{*1} 日本パブリックリレーションズ協会 2013年・2015年 PR 業実態調査報告

^{*2} 日本パブリックリレーションズ協会 2015年 PR 業実態調査報告

『PR Intelligence』 サービス概要

- ・ サービス名 : 『PR Intelligence』 (ピーアール インテリジェンス)
- ・ サービス内容 : ビッグデータを元に、商品・サービスの売上に貢献する PR メッセージ・タイミング・媒体等の要素を分析
- ・ サービス URL : <http://www.bil.jp/printelligence.html>
- ・ 料金体系 : 200 万円/半年～ (クラウド型 PR 効果測定ツール「PR Analyzer」利用料含む)

ビルコム 会社概要

- 社 名 : ビルコム株式会社 <http://www.bil.jp/>
- 設立年月日 : 2003 年 10 月 ● 資本金 : 2,000 万円
- 代 表 者 : 代表取締役兼 CEO 太田滋 (おおた しげる)
- 住 所 : 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー 11F

ビルコム株式会社は、創業以来 14 年を通じてデジタル PR・戦略 PR を提供してまいりました。統合型デジタルマーケティング、データドリブン PR、デジタル PR、戦略 PR の事業を、幅広いお客様にご提供しています。公益社団法人 日本マーケティング協会、日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会、WOM マーケティング協議会などに加盟し、日本インタラクティブ広告協会「ネイティブアド研究会」主査、2014 年「ネイティブアド研究会」主査、2015 年「ネイティブ広告部会」推進メンバー、2016 年「ネイティブ広告部会」事例研究分科会リーダーを務めています。「WebPR のしかけ方」(インプレスジャパン)を執筆するなど、デジタル PR の分野をリードしています。

本プレスリリースに関する問い合わせ先

ビルコム株式会社 コーポレートブランディング Div.
小林、井出、茅野 TEL/03-5413-2411 FAX/03-5413-2412 E-MAIL/bil-info@bil.jp